

kruid は Pepper herb や Pepper grass にあたるようである。しかし Selderie が果して *Lepidium sativum* の蘭名であるかどうかは別の話題としたい。

なお念のためつけ加えておすが、この植物は Fr. Sav. 目録の本文中には無く、ただ第 2 巻の巻尾 (p. 712) に日本語の植物名としてあげてあるだけである。したがって、同書の日本名索引なるものは日本名の表だけである。

要するに江戸末期にオランダ人からのきき覚えが、かなで「セルデリイ」とかかれ(紅毛談)、サルテレン(本草図譜)更にローマ字で Seruderei (Fr. Sav. 目録)となり、またこれが後の名彙や名鑑に及んだものである。そんなわけで其後の賢明な人たちは、こんな名は捨ててしまった。たとえば、大井氏の日本植物誌。

For *Lepidium sativum* L. an anonymous word “serderie” is used in Enumeratio Plantarum in Japonia sponte crescentium (II, p. 712) by A Franchet & Lud. Savatier but this is misspelling of dutch noun “selderie”.

(東邦大学薬学部)

O *Drosera arcturi* Hook. の染色体数 (近藤勝彦・B・ホワイトヘッド)
Katsuhiko KONDO & B. WHITEHEAD: Chromosome number of *Drosera arcturi* Hook.

オーストラリア、ニュー・サウス・ウェルズ州の比較的標高の高い地域に存在する湿地帯に *Drosera arcturi* Hook. の自生がみられる。この種の染色体数報告は今までに無かったので、ここに新しく発表しておく。材料は下記の自生地より採集した。30 miles west of Jindabyne N.S.W. at an altitude of 7000 ft. on the side of a mountain. A swampy area where water was seeping from the hillside, which would have been water from snow melting higher up. Plants growing in dense clumps. (coll. January 18, 1971. Whitehead 3001).

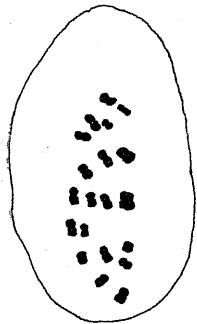


Fig. 1. Somatic chromosomes (\times ca. 1450) in root tip cells of *Drosera arcturi* Hook. ($2n=20$).

根端細胞は、前処理をせず、直接カルノア液で固定した。観察は酢酸カーミンおしつぶし法により行ない、 $2n=20$ が観察された。Diels (1906: Das Pflanzenreich 4 (112): 1-136)によれば、*D. arcturi* は他の 2 種、*D. uniflora* Willd. (南アメリカ産) と *D. stenopetala* Hook. f. (ニュージーランド産) とともに Subgenus I. *Rorella* DC., Sect. I. *Psychophila* Planch. に入られている。おもしろいことに、*D. arcturi* の染色体数 $2n=20$ は、同じ属属中の Sect. VII *Rossolis* に含まれる種と基本数 $X=10$ をもつことで共通している。

(ノースカロライナ大学・パークレー高等学校)